

大阪フィルハーモニー交響楽団×ザ・シンフォニーホール 〈ソワレ・シンフォニー〉VOL.1

マエストロ 高関 健からのメッセージ

——演奏時間を1時間、開演を7時半にする理由とは？
気軽にクラシックを楽しみたい方に最適です。仕事で忙しい方も余裕を持って来られますし、2時間の公演は長いと感じられる方にもおすすめです。クラシックは決して気難しくありません。敷居を低くするために内容を簡単にするのはなく、訴える力の強い作品を、短めの時間の中で集中して聴いてもらうことは一つのアイデアだと思います。

——マーラーを選ばれた理由と「巨人」の魅力とは？
マーラーは、私が最も身近に感じる大好きな作曲家。未完成に終わった第10番を除いて、すべての交響曲を演奏してきましたが、マーラーの交響曲を指揮することは、私にとっても常に大きな挑戦です。交響曲第1番「巨人」は、マーラーが

20代の頃に作曲されたものです。その後何度か改作されましたが、青春の息吹きと若々しい感情が素直に表れていきます。また、感情の大きな爆発が実感できるのも魅力。例えば第1楽章に比べて、第4楽章の爆発はずっと大規模です。長い伏線を経て形を変えた爆発を体験でき、わくわくすると思います。難しいことは考えず、マーラーが作り出すダイナミックな響きに体を委ねてみてください。

——マーラーを、現代人や、女性の方にもアピールできる点はありますか？
「巨人」は後期の作品に比べれば単純ですが、マーラー自身、現代の私たち以上に複雑な精神構造を持ち、表現が精密です。どの作品もスリルとサスペンスに満ち、その意外性や迫力はテレビゲームにも引けを取

りません。マーラーの作品には現代人を引き込む要素が多分にあるのです。
マーラーは仕事には厳しい人だったそうですが、家庭では家族と奥様を心から愛していたそうです。「巨人」の第2楽章の中間部と、第4楽章のゆつくり歌う部分では表現が繊細で、彼は愛を語っているのだと私はいつも思います。



京都市交響楽団
常任首席客演指揮者(2014.4～)
高関 健

——ザ・シンフォニーホールへの想いと、お客さまへのメッセージをお聞かせください。
ザ・シンフォニーホールへの舞台に初めて立つたのは1984年。カラヤンとベルリン・フィルの来日公演の助手として、音響テストで指揮しました。以来、ホルの響きの素晴らしさに魅せられ、カラヤンも絶賛していました。大好きなザ・シンフォニーホールで愛するマーラーの「巨人」を演奏できることを本当に嬉しく思います。作品の真意を聴いていただけるよう、精魂を込めて演奏いたしますので、みなさまにお楽しみいただければ幸いです。ご来場を心よりお待ちしております。

平日の仕事帰りに、気軽に楽しめるコンサート。

ザ・シンフォニーホールと大阪フィルハーモニー交響楽団の共催公演企画「ソワレ・シンフォニー」がスタートする。指揮者は日本を代表する実力派が揃い、それぞれが得意とする作曲家の「交響曲1番」を披露。第二回公演の指揮を担当する高関健が、「ソワレ・シンフォニー」の魅力と公演の聴きどころを紹介する。

ここが新しい！

開演は
7:30pm

演奏時間は
1時間

均一指定
3,500円

vol.1 2014. 4/16(水) 7:30PM

〔指揮〕高関 健 〔管弦楽〕大阪フィルハーモニー交響楽団
ウェーバー：歌劇「魔弾の射手」序曲、マーラー：交響曲 第1番 二長調「巨人」

均一指定 3,500円(税込)

〔ご予約・お問い合わせ〕大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890
ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

主催：公益社団法人大阪フィルハーモニー協会／ザ・シンフォニーホール

vol.2 2014. 7/31(木) 7:30PM 〔指揮〕尾高 忠明

エルガー：行進曲「威風堂々」第1番 二長調 op.39-1、交響曲 第1番 変イ長調 op.55

vol.3 2014. 10/15(水) 7:30PM 〔指揮〕外山 雄三

外山 雄三：前奏曲(2012)
チャイコフスキー：バレエ組曲「白鳥の湖」より、交響曲 第1番 短調 op.13「冬の日の幻想」

vol.4 2015. 1/15(木) 7:30PM 〔指揮〕大山 平一郎

ブラームス：大学祝典序曲 八短調 op.80、交響曲 第1番 八短調 op.68